

2013年春闘勝利!

## 国労仙総支部春闘総決起集会開催

(3月4日)



結集した組合員

### 庄司委員長挨拶

二〇一三年春闘勝利! 国労仙総支部春闘総決起集会に結集された仲間皆さん、大変ご苦労

3月4日(月)に利府コミニティセンターにおける支部春闘総決起集会に、支部組合員約一〇〇名の組合員が結集しました。司会の高橋書記長は「これまで今春闘に向け一人1要求や1月25日に提案された総合車両センター関係業務改善の解明要求・基本要請の作成を取り組んできた。7日に今年度の総車七関係業務改善の見極め交渉と来年度の総車七関係業務改善の解明要求交渉が予定されている。今週、支部として総務科に要請行動を行う。来週以降、各分会で科長への要請行動を取り組まれる。そして今週は、支部総決起集会を皮切りに5日の東北三地本春闘総

決起集会、9日の国労仙台総行動の行動が予定されている。是非皆さんのご協力をお願いする。」と開催の挨拶を行いました。支部を代表し支部庄司委員長は「私たちは、度重なる国労攻撃・国労つぶしの攻撃にも耐え抜き国労の旗を守ってきた。この旗を次の世代に引き継いでもらうため新しい仲間が必ず」と挨拶を行いました。その後、各分会代表の決意表明、集会の最後の庄司委員長の団結ガンバローで春闘勝利に向け団結して闘うことの意思統一を行いました。尚、集会終了後に懇親会を開催、団結を固めました。

様です。二〇一三年春闘については、支部春闘学習会や過日開催した支部定期委員会の中でも報告があったが、国労は1月25日に開催された拡大中央委員会の中に於いて、五〇〇〇円の賃上げ要求、第二基本給廃止、パート・派遣労働者の待遇改善等を柱とした八項目の統一要求を確認した。そして、2月12日にJR各社一斉に申し入れを行い、3月15日を回答指定日として団体交渉へと進めてきた。この取り組みの中で、私たちはこの東北の地で大衆行動を積みあげるため、3月5日の国労東北、3月9日の国労仙台総行動を取り組みながら国労として街宣行動を行う。本日の集会は、これらの街宣行動の成功をめざし仙総支部が一丸となる事を固め合う場とする。これを皆さん確認しあいたい。こうした街宣行動と同じく、私たちの職場の闘いをこの二〇一三年春闘に連動させて構築するた

め、一人1要求の取り組みや諸行動等を皆さんと共に積み上げてきた。この春闘の大きな山場である回答日に照準を合わせる。職場の闘いをぶつけていくための打ち合わせや意思統一を行ってきた。強い決意を持って私たちの職場でも奮闘しよう。厳しい状況ではあるが、賃上げなくして内需の拡大はない。そして経済の好転もないという私たちの主張を大きく訴え、二〇一三年春闘を幅広い全体の力で盛り上げていこう。そして、二〇一三年春闘の闘いの大きな目標に国労組織の拡大もある。本部は、闘争指令を発しながら国労組合員の奮起を促している。私たち支部も、学習会の中でも学び、一人一人が決意を持って新たな仲間の加入を勝ち取るために加入の呼びかけ等の行動を取り組むことを意思統一してきた。

私たちが、度重なる国労攻撃・分割民営化の国労つぶしの攻撃にも耐え抜いて国労の旗を守ってきた。この旗を次の世代に引き継いでもらうために新しい仲間・次の世代の仲間が必要である。職場の中を見れば、労働運動を実践している労働組合はどこ

の組合は歴然としている。今、若い労働者の中には、労働組合そのものに期待をしていない心理が働いていると聞いている。私たちが職場の中で労働運動を実践する中で、力強く国労加入を訴えてほしい。全ては、自分のために、そしてみんなのためになる運動を職場の中で実践していくことを改めて要請する。

### 各分会代表挨拶

運動分会 横山分会長

二〇一三年の業務改善の提案で、台交作業全面の部外委託と台交組の解消が出された。会社側から見れば業務の改善だが、我々働く労働者にしてみれば労働条件の低下そのもの。今春闘、五〇〇〇円の賃上げ獲得。そして我々の要求を勝ち取るため、運動分会一丸となつて皆さんと共に最後まで闘う。

組立分会 桜井分会長

5日と9日の行動は支部の要請を上回る組合員が参加する。9日の行動が終了後分会として組織拡大に向け意思統一等を行うため団結会を開催する。分会では今年も一人1要求を取り組み、84項目にわたる制度・職場環境問題等の要求を支部へ提出してきた。中々改善されない部分もあるが、要求実現のために取り組んでいく。

安倍内閣が発足し、内需拡大・景気の回復を掲げているが、大企業や公共事業にお金をばらまいているだけで、我々の賃金が上がらなければ内需の拡大はない。そういった意味で、今年こそベアゼロを打破って要求実現に向け組立分会は皆さんと共に

### 台車分会 森本分会長

日本の労働者の賃金は14年間で下がり続け、14年前の88%まで下落した。先進国では他にはない。米国では17%になっている。とうとう政府が企業に賃上げ余力があるところは賃上げをして内需拡大をする以外にないと言ふようになった。今がチャンス。台車分会は5日の行動には9名、9日の行動には21名の参加を予定している。最後まで皆さんと力を合わせ闘っていく。

### 車体分会 小松分会長

今日は44名参加している。5日は11名、9日は29名参加する。来年度の業務改善では、先頭車の運転台機器の装束作業、主に空気配管部分と一部の床下機器の装束作業の部外委託が提案されている。現在担当の班14名と14名の作業が委託される。そのうちの9名が国労組合員。教員的な不安がっている。そして教育期間が二ヶ月という短期間で計画が出ているが、入場する編成にも偏りがあり無理がある。この提案された作業を担当している仲間が、これまで培ってきた技術技能がわずかな期間で委託会社が受け持つ作業が、業務内容と関わっていること、業務内容を軽く見られていること、安全問題、怒りを感じている。安全問題、の見地からも部外委託へのリスクの多さを強く訴えて行く。分會として、直ちに解明要求を集約し提出してきた。今回の提案を受けて、今年も会社施設を利し、分會集會を開催していく。本日か、春闘行動では、16日と23日に反原発集會もある。行動の盛り上がり参加して行く。



## 国労東北協議会

# 国労東北春闘総決起集會開催

(3月5日)



一番町をデモ行進



仙総支部もプラカードを先頭に



東北の工作の仲間と交流 (工作交流会)



国労です。



大幅賃上げで景気回復を!

### 早朝チラシ行動

3月5日(火)に仙台市・市民会館において、東北三地本から組合員約400名が結集し、二〇一三年春闘勝利、諸要求獲得に向け国労東北春闘総決起集會が開催されました。

集會は二部構成で、第一部では、東北労働講座として「福島原発における被爆労働改善と今後のエネルギー・原子力政策の課題」と題して、国労弁護団・海渡雄一氏から講演が行われ、福島第一原発事故の復旧作業にあたっての労働者の実態、国会事故調査委員会報告や原子力政策(原発を止めるには)について、原発訴訟の実情等の報告がありました。第二部に入り、国労東日本本部・高野委員長からの春闘情勢、安全問題、組織強化・拡大等の報告を含めた挨拶。来賓挨拶(社民党、共産党、平和労組)、東北三地本代表からの決意表明が行われました。その後、アピール採択、斉藤議長、藤議長の団結ガンバローで締められ、仙台市内を四隊に分かれデモ行進を行いました。

デモ行進終了後、仙台市グリーンコートにおいて、東北三工場交流会が開催され(約50名参加)、遠く離れ中々会うことのできない仲間との交流を行いました。尚、この行動の前段、仙台駅東口と仙台支社前で早朝チラシ行動が行われました。